

交差点編（優先道路）





優先道路の見極め

交差点の基本構造

交差点は「信号管理交差点」と「優先管理交差点」の2種類があります。
信号のルールは明確なので、**優先管理交差点のルールを正確に把握する**事が重要です。

信号管理・交差点



信号に従えば良い

優先管理・交差点



優先の定義を確認しよう

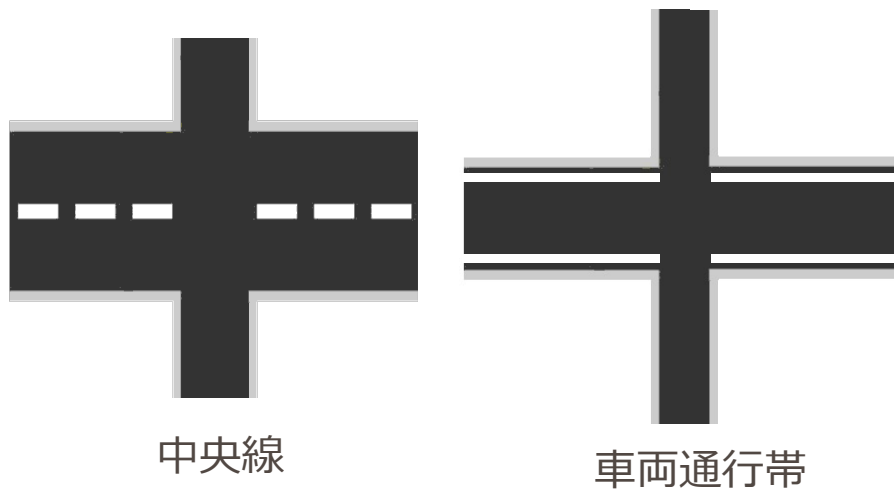
優先道路の本来の定義

ベーシック
トレーニング

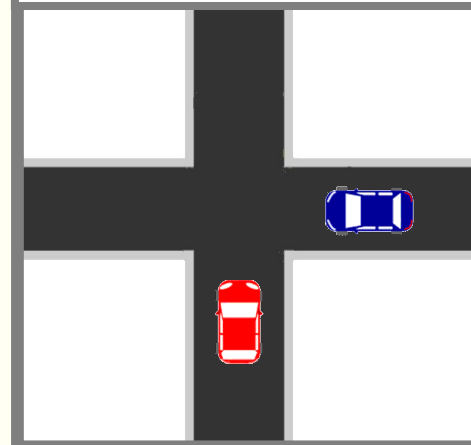
①道幅が広い方が優先



②線がある方が優先



③同じ条件なら
左方優先
(赤が優先)



本来は、これらの原則論を総合的に判断するのがですが、「止まれ」の普及に伴い必要性が薄れてしまいました。

「止まれ」があれば優先関係が確定してしまうため、実際にはあまり使われておりません。

信号のない交差点の基本構造

ベーシック
トレーニング

基本構造は
「止まれ」と「表示なし」がワンセット
になっています



実用的な判断方法

ベーシック
トレーニング

標識・表示がある→ 「非・優先」 確定



何も書いてない→ 「優先道路」と判断



東京・神奈川・千葉・埼玉や、主要地方都市では、ほぼ全ての交差点に「止まれ」の標識が普及しているため、「止まれのある無し」が現実的な判断基準となります。但し「田舎」では普及していない場所もあるため注意が必要です。

相手側の道路も確認しましょう

ベーシック
トレーニング



横断歩道がある交差点（フェイク交差点）

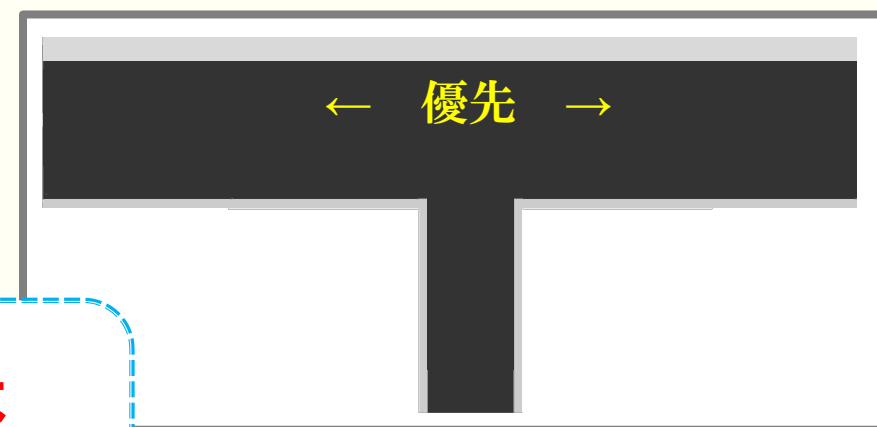
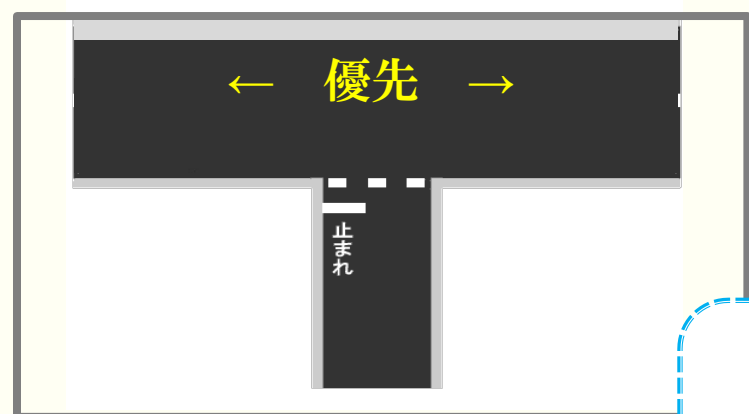


大原則として「歩行者優先」となります。

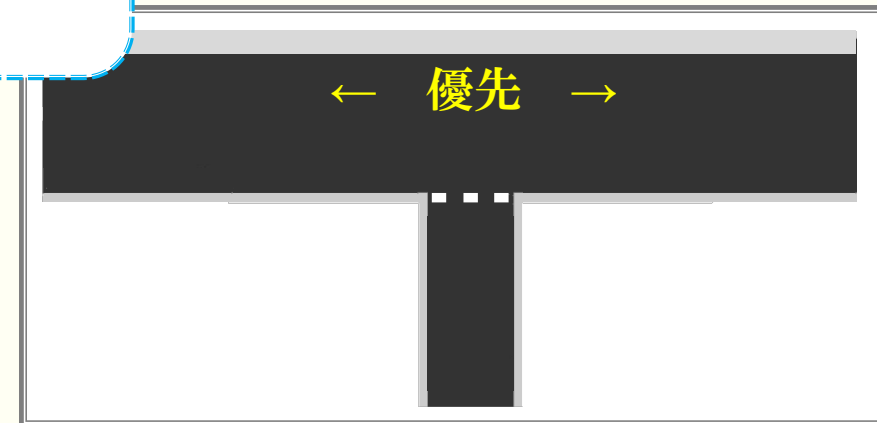
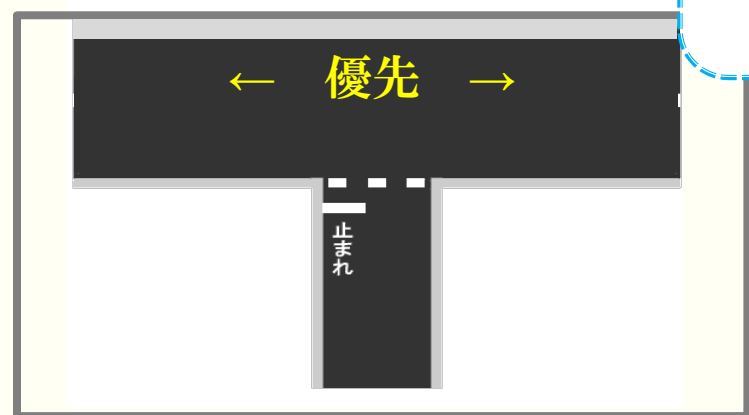
ここでの**停止線の意味**は
歩行者がいる場合、車両は止まりなさいとなります。

歩行者がいない場合のみ
「車両vs車両」の解釈となります。

T字路での優先関係



**T字路の解釈は
全て一緒**

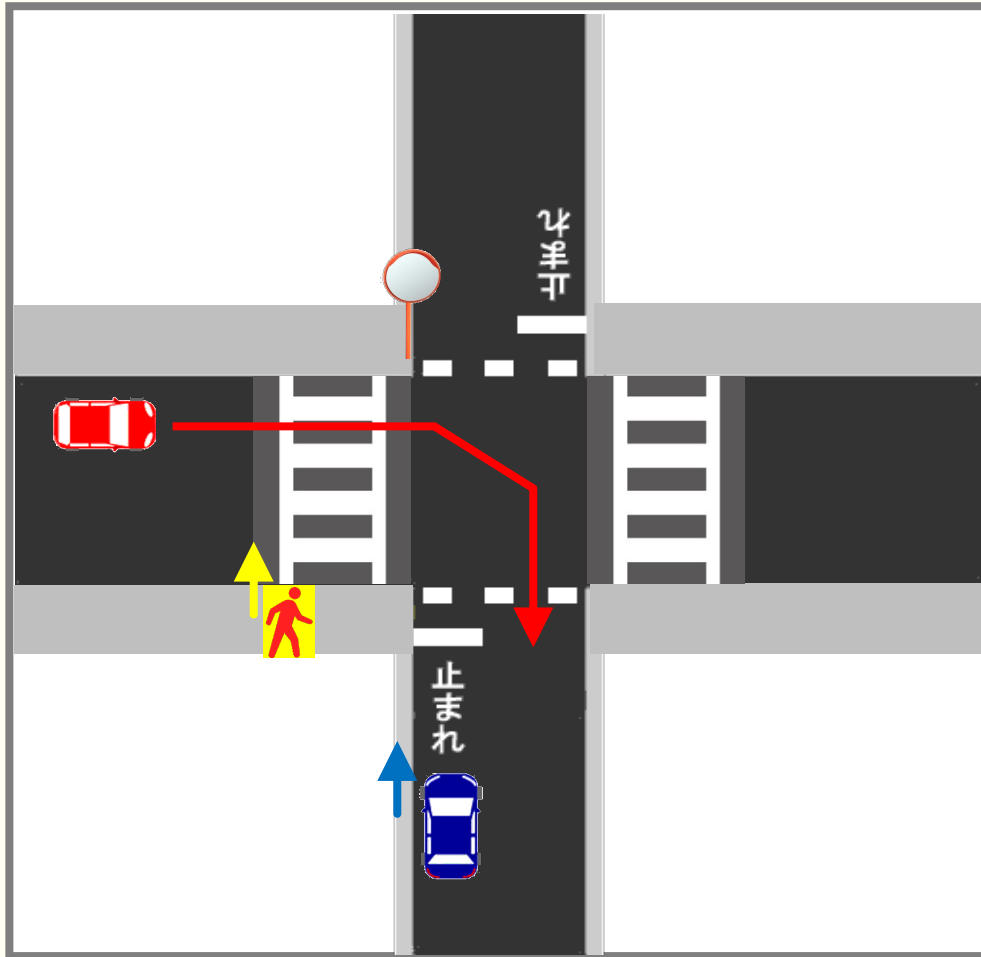




優先関係の整理

優先関係の問題①

ベーシック トレーニング

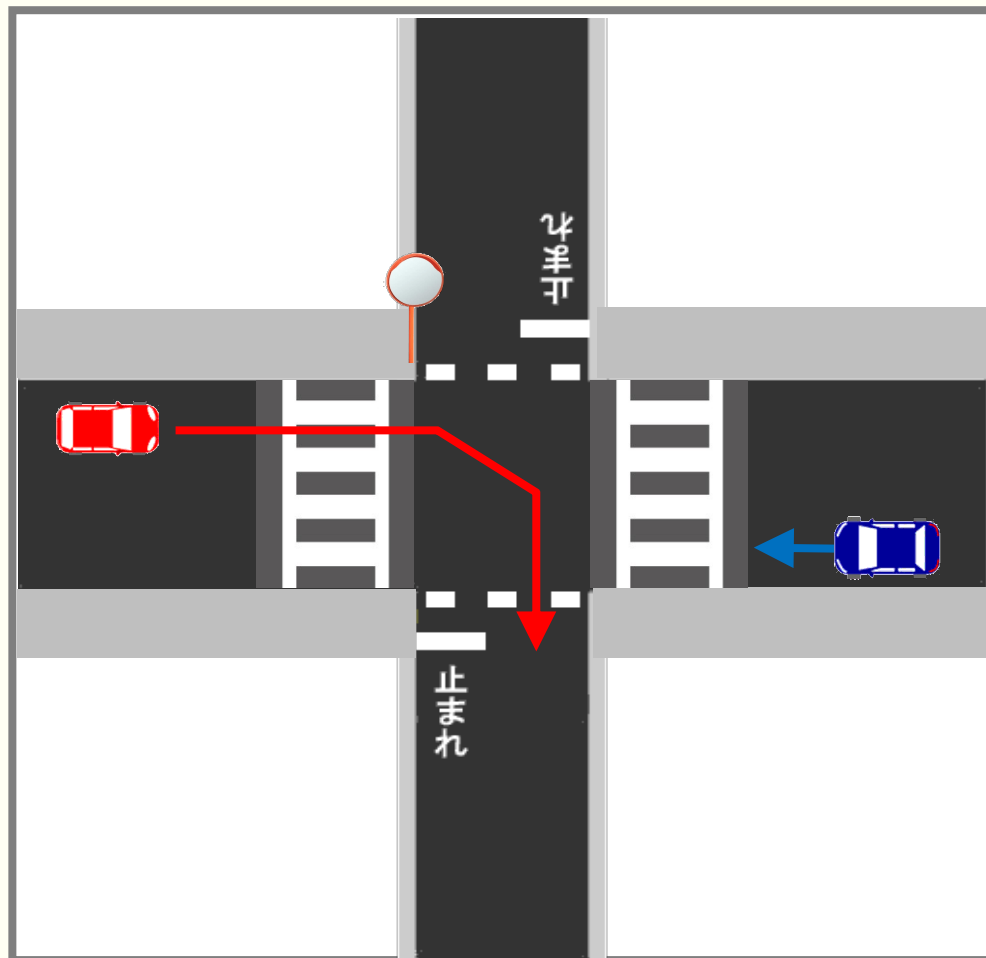


どの順番が正しいですか？

答え
①歩行者
②赤い車
③青い車

優先関係の問題②

ベーシック
トレーニング

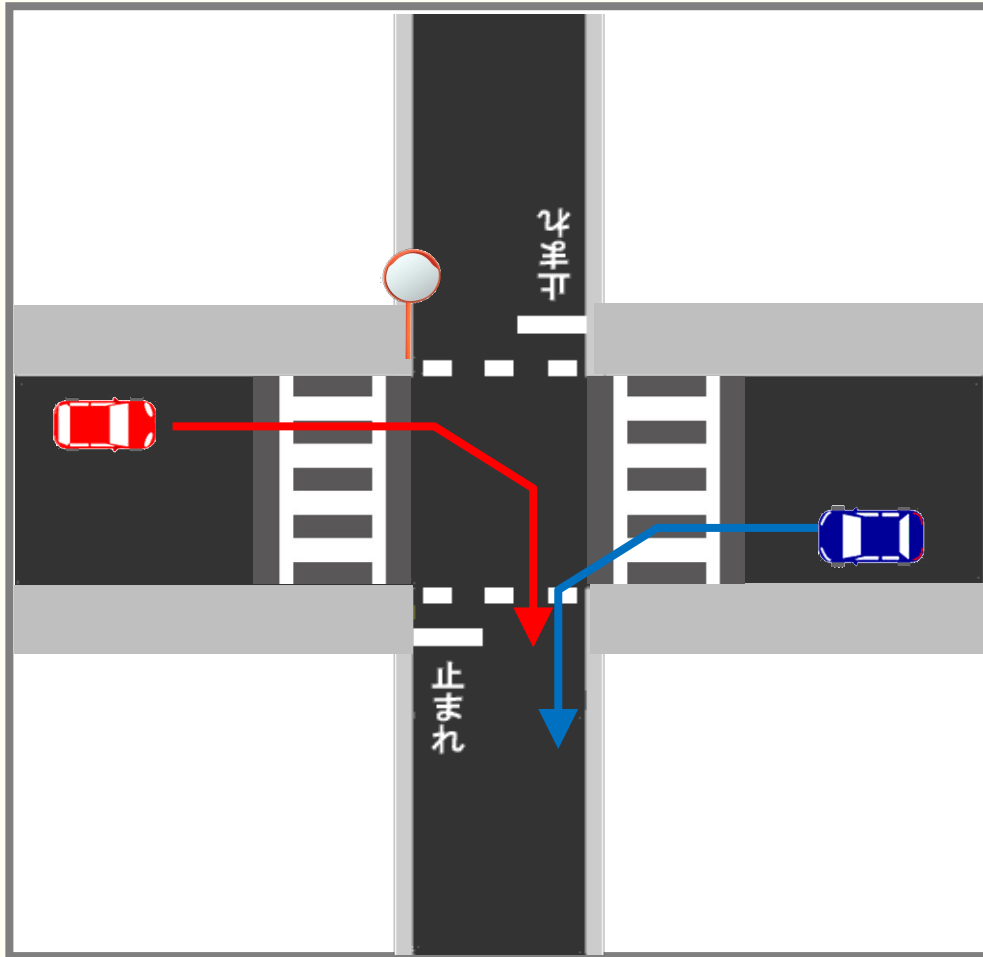


どの順番が正しいですか？

答え
①青い車
②赤い車

優先関係の問題③

ベーシック
トレーニング

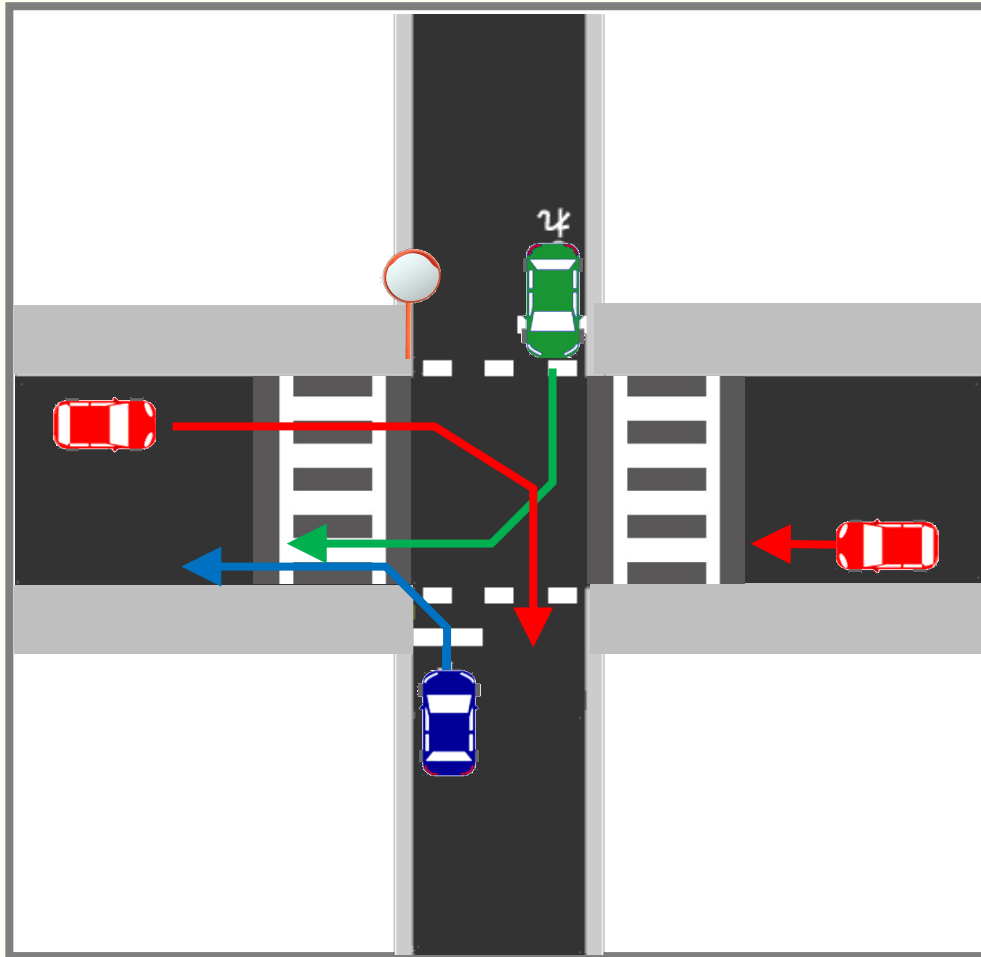


どの順番が正しいですか？

答え
①青い車
②赤い車

優先関係の問題④

ベーシック トレーニング

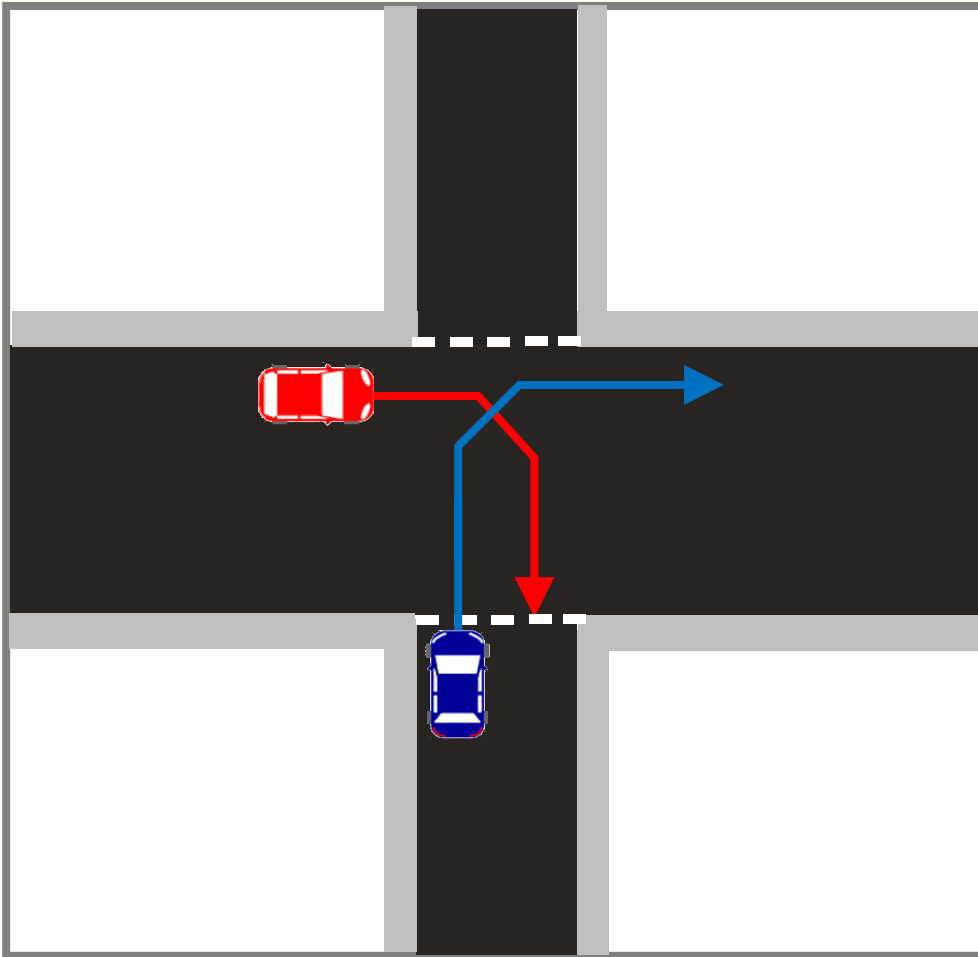


どの順番が正しいですか？

答え
①赤い車（右）
②赤い車（左）
③青い車
④緑の車

優先関係の問題⑤

ベーシック トレーニング



- ① 赤い車
 - ② 青い車
- の順番が優先順位です。

しかし 赤い車 は待機したままです。
赤い車 は何故、動いてくれないのでしょうか？

答え
青い車が先に行ってくれた方が
「すれ違い」が簡単になるから

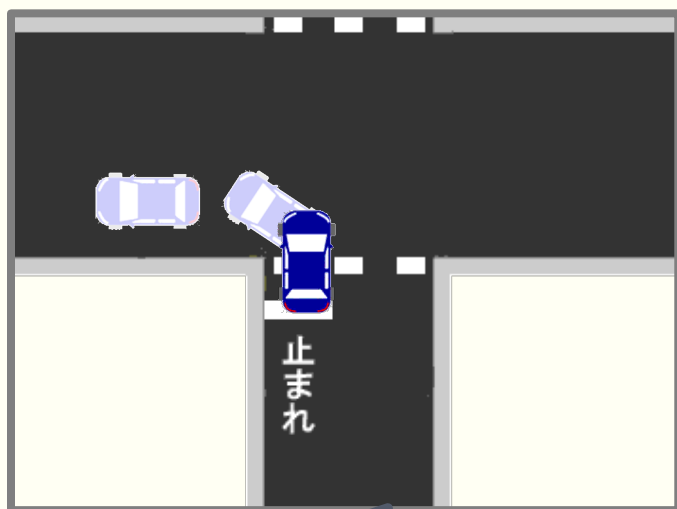


複合動作

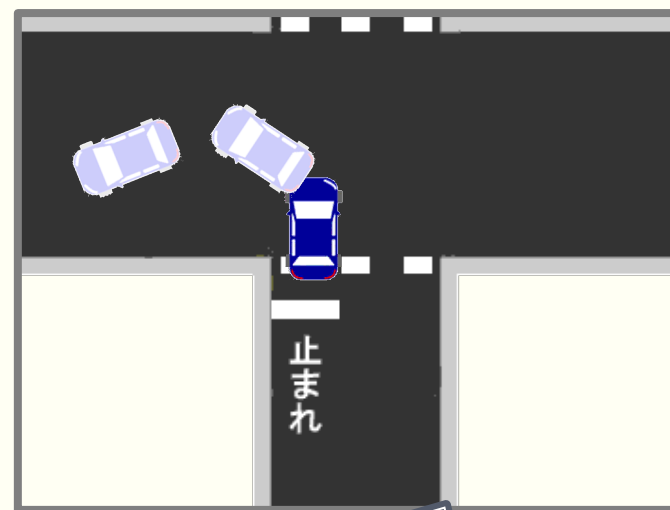
複合動作

ベーシック
トレーニング

確認とラインコントロールは両立させなければいけませんが、一時停止では特に、ラインオーバーをしてしまう傾向があります。確認に気を取られ、確認が終わってからハンドルを回し始めてしまうためです。



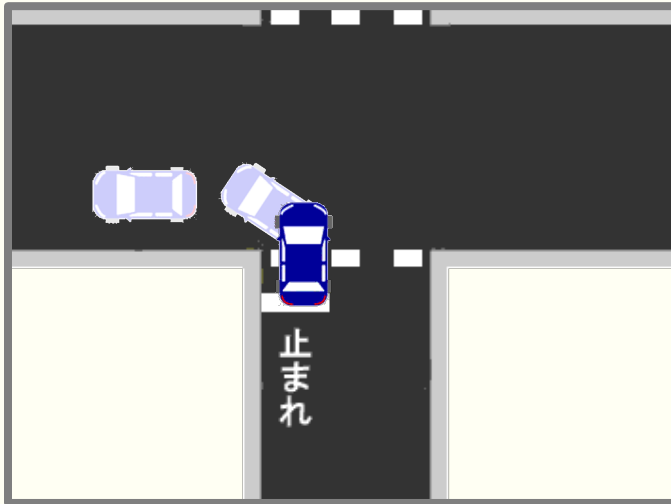
確認しながらハンドルを回せている。
ブレーキコントロールも出来ている。



確認が終わってからハンドルを回している。
逆に言えば、確認を終えるまでハンドルに意識を向ける事が出来ず、両立が出来ていない。

複合動作

ベーシック
トレーニング



複合動作とは

- ①確認 (=目)
- ②ハンドリング (=手)
- ③ブレーキング (=足)

3つの行動（意識）が同時に行われる事によって、はじめて成立します。

【特徴】

スポーツや楽器演奏の熟練と同じで、説明だけで出来る様になる性質ではありません。

身に付くまで一定の時間が必要になります。。

【トレーニングのポイント】

教習初期の周回トレーニング時から、徹底して「声掛け」の反復を行い、身体に覚えこませてしまうのが近道です。

【声掛けワード】

- ・「回しながら」
- ・「確認しながら」
- ・「ブレーキ・足元」



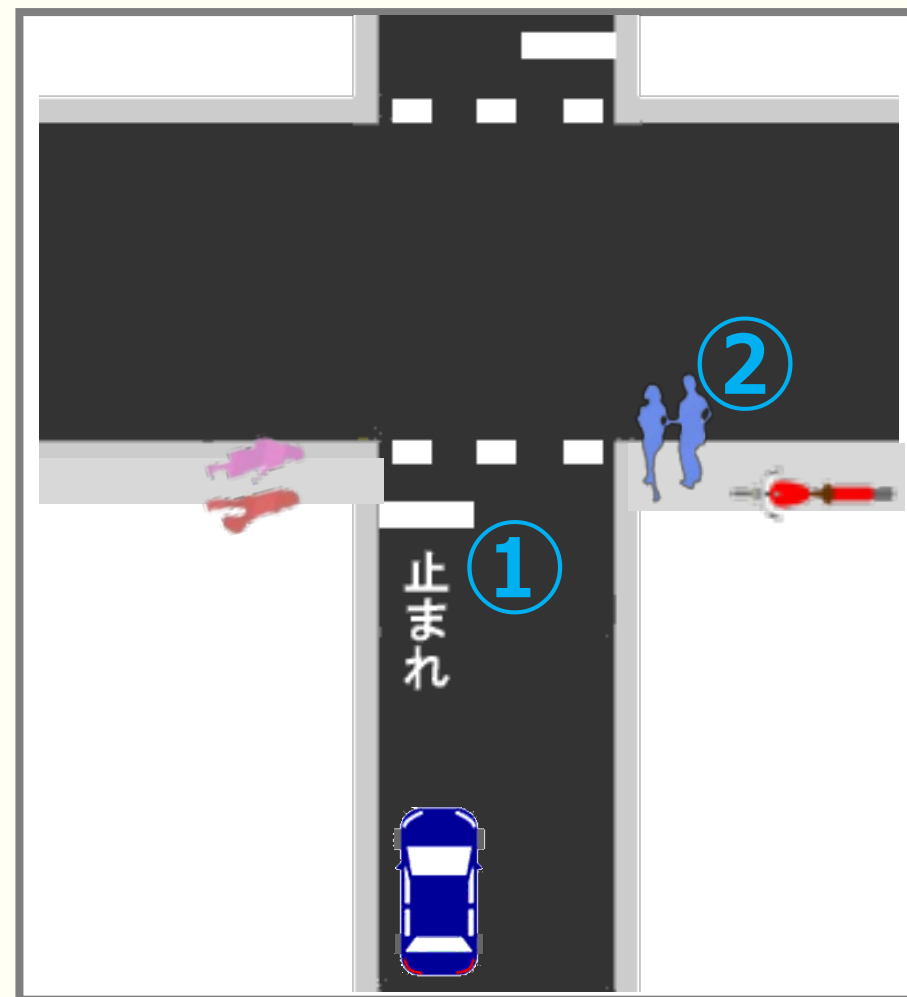
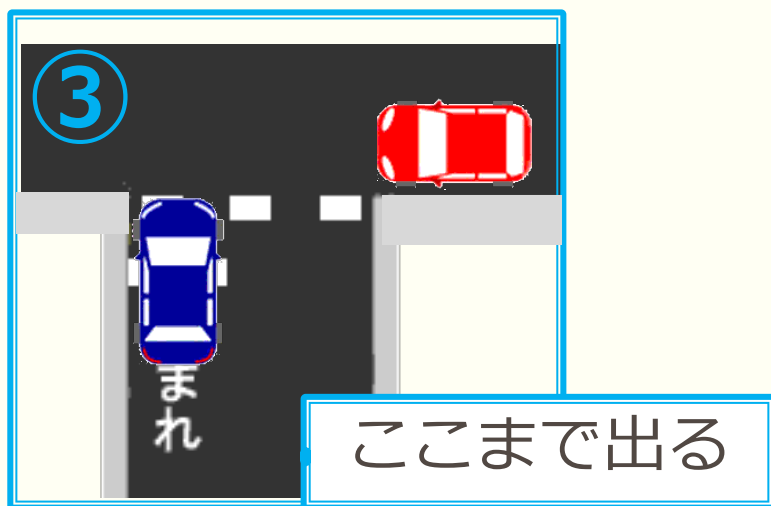
非・優先道路での対応

「止まれ」の手順を3ステップで覚えよう

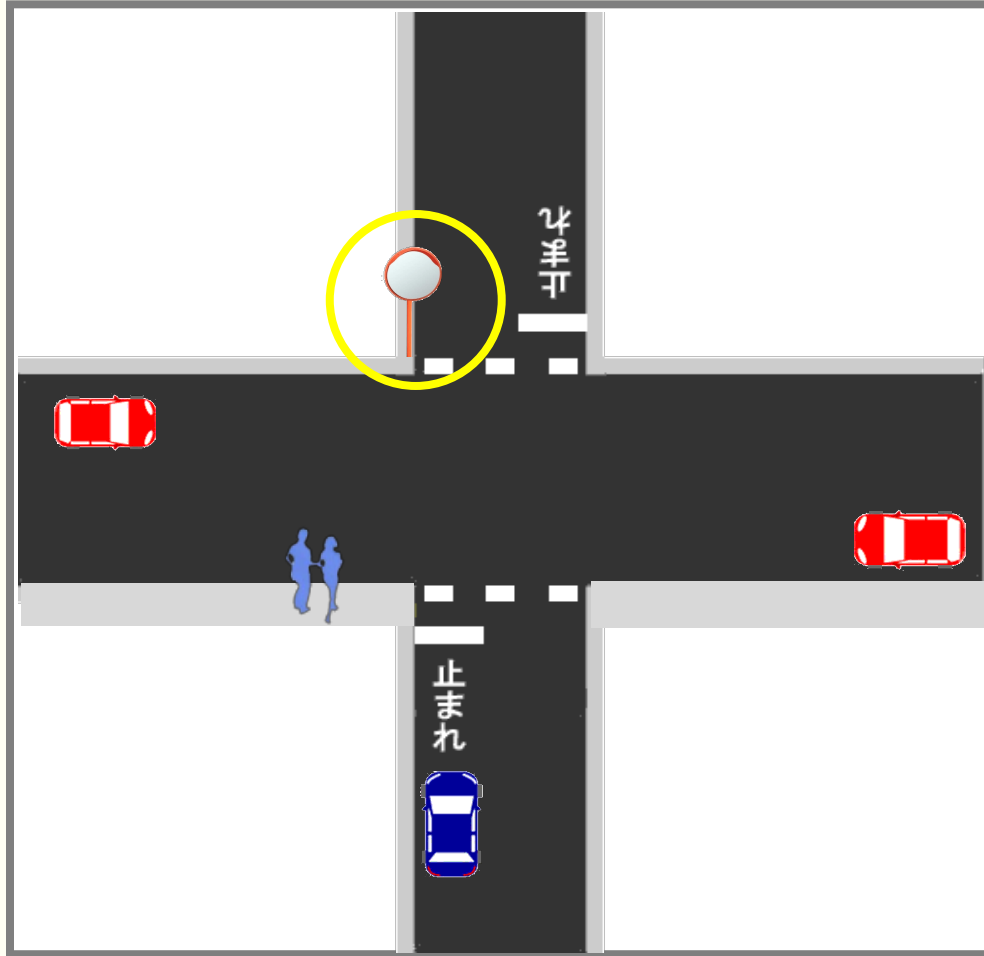
ベーシック
トレーニング

3ステップで覚えよう

- ① 止まる (停止線で止まりましょう)
- ② 首振り (歩行者チェックをしましょう)
- ③ 道路際 (点線まで進みましょう)



カーブミラーを活用しよう



正面のカーブミラーをチェックしてみま
しょう。

判断材料を増やすことができます。

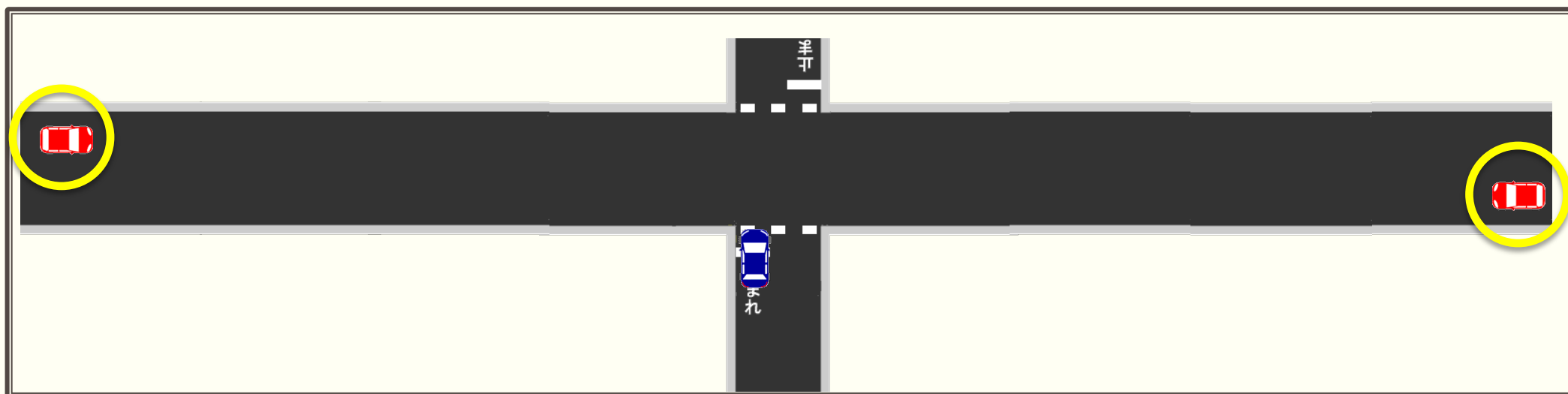
事前にチェックが出来ると理想です。

- ①カーブミラーをチェックする
- ②歩行者・自転車に意識を向ける
- ③道路際に出る
- ④目視確認

非・優先道路で安全を守るたった一つのポイント

「非・優先道路」で安全を守るたった1つのポイント

遠くまでチェック出来たら進みましょう



一時停止での接触の順番



確認の順番を大切にしましょう
左からの確認が原則です。

- ①左（歩行者）
- ②右（右方車）
- ③左（左方車）

負の成功体験

例) 一時停止

一時停止で止まっている
(0キロにしている)



変わらず
止まっている



変わらず
止まっている

一時停止が微妙にルーズ
(止まった風)



2キロでも安全だと感じて
しまう



3キロ、5キロと、**どんどん**
エスカレートし、止ま
らなくなってしまう

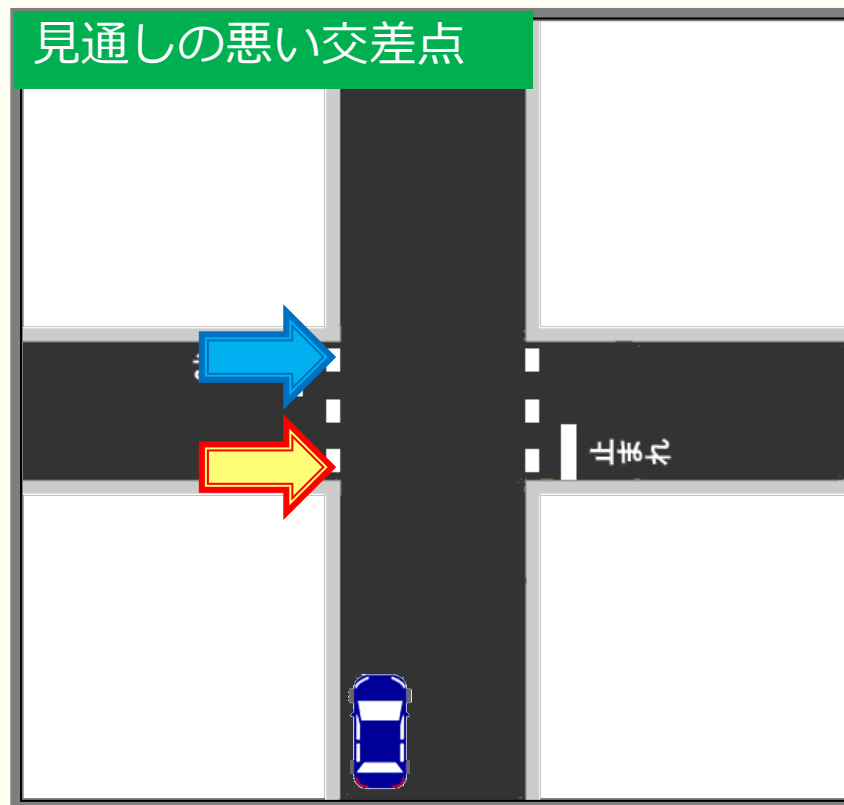
2キロオーバーでも問題なく運転出来た。
という成功体験が積み重なってしまうと、やがてエスカレートしてしまいます。

大切な事は、最初の段階で**正しい行動を習慣化させる事**です。

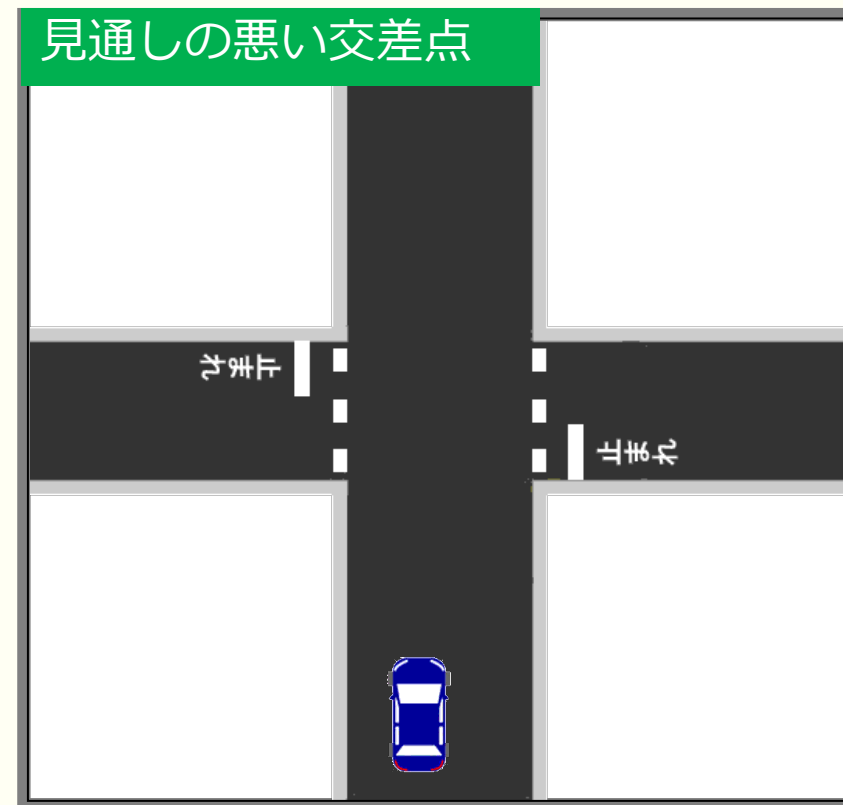


優先道路での対応

優先道路のポイント（センター寄り走行）

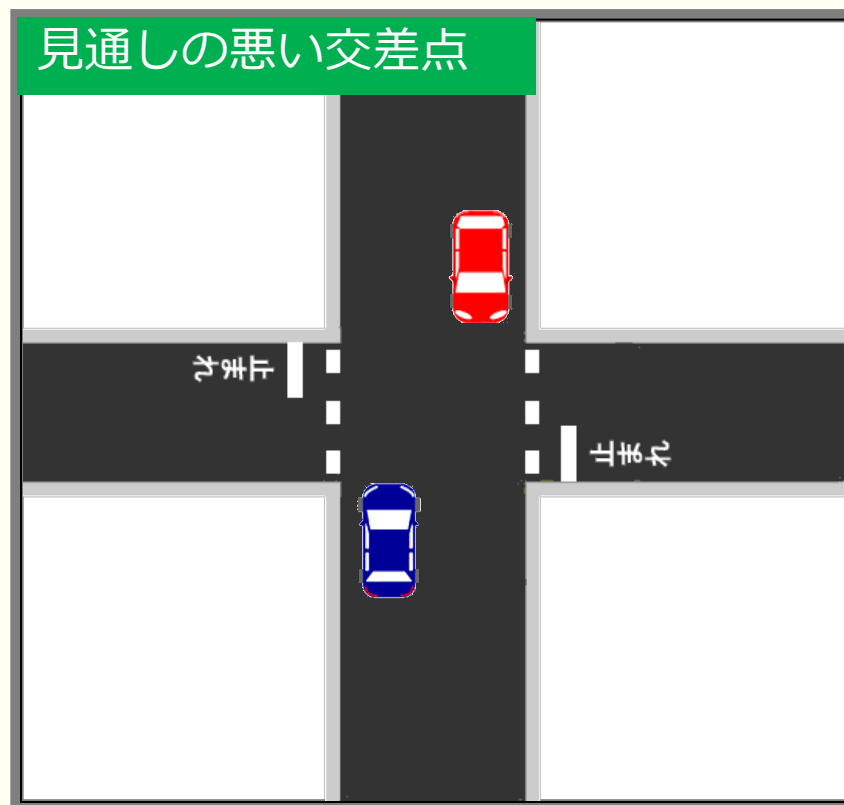


青の飛び出しは少しだけゆとりがある
赤の飛び出しはゆとり無し



気持ち、センター寄りを走行すると
「飛び出し＝即事故」を回避できる

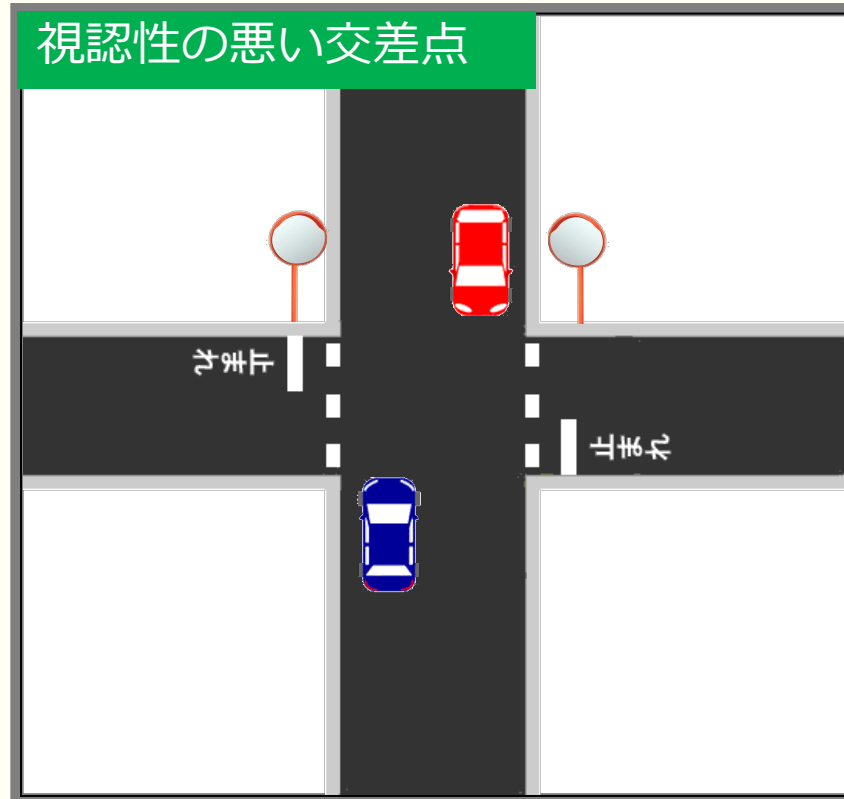
優先道路のポイント（センター寄り走行）



対向車がいる時にセンター寄り走行は出来ません。
素直に減速をして、飛び出しに備えつつ進みましょう。

優先道路のポイント（ミラーチェック）

ベーシック
トレーニング



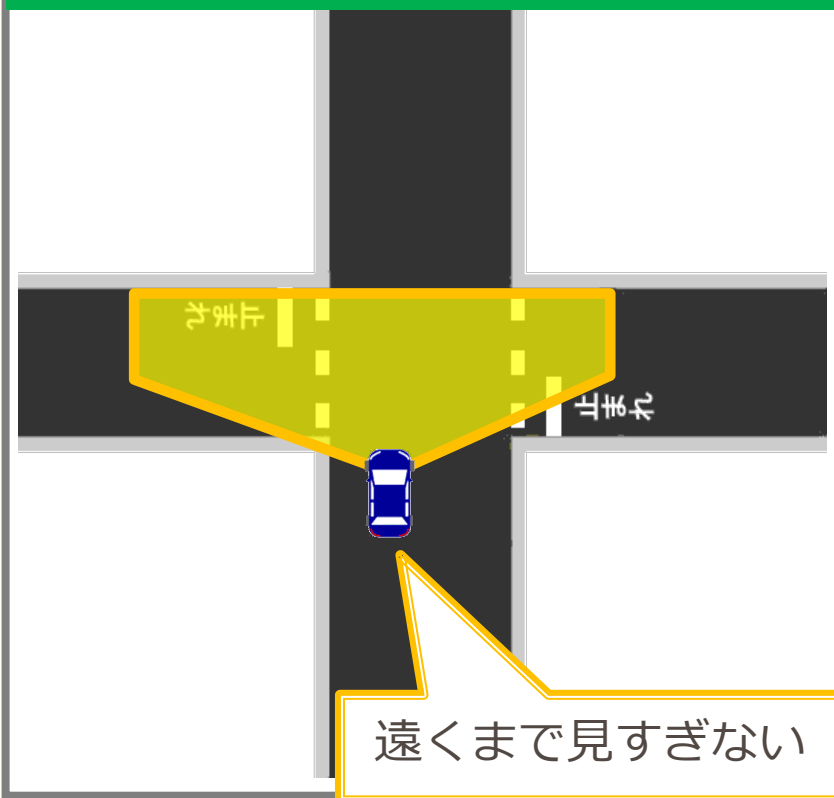
見通しの悪い交差点では、飛び出し確認用のカーブミラーが設置されています。

「カーブミラーのチェックを習慣化」ができてしまえば、安全度はグーンと向上します。

インストラクターはお客様のチェック状況を質問ベースで確認しましょう。

優先道路の通過スピード

優先道路は「軽チェック」



最も危険な行為は『優先過信』です。
「優先＝安全」ではありません。

一方で『確認をやり過ぎてしまう』行動にも問題があります。

通過する際は『軽チェック』で通過しましょう。

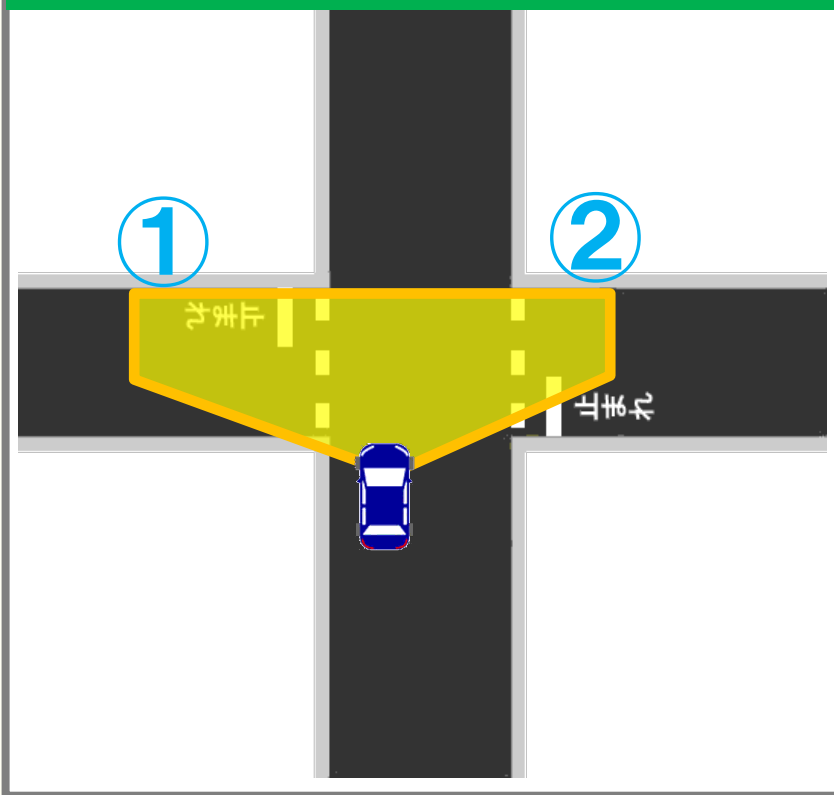
通過のスピード感はインストラクターの見本を参考にしましょう。

『エンジンブレーキ』 + 『軽ブレーキ』
程度のスピード感の交差点が多くあります。

優先道路の通過スピード

ベーシック
トレーニング

左サイドから確認しよう



左サイドから確認を始めましょう。
当たる順番は「左」が先です。
「右」は「ゆとり」があるので後回し。

【確認手順】

- ①左サイド
- ②右サイド



キープレフトとセンター寄せの使い分け

キープレフトすべき場面

ベーシック
トレーニング



非・優先対処時

キープレフトを徹底します。
もしも「対向車が来たら」という意識を
常に保持しておきましょう。



赤信号停止時

センター寄せでも問題ない場面

ベーシック
トレーニング



「対向車」がいなければ「センター寄り」で通過しても構いません。
「飛び出しケア」を意識する場面です。

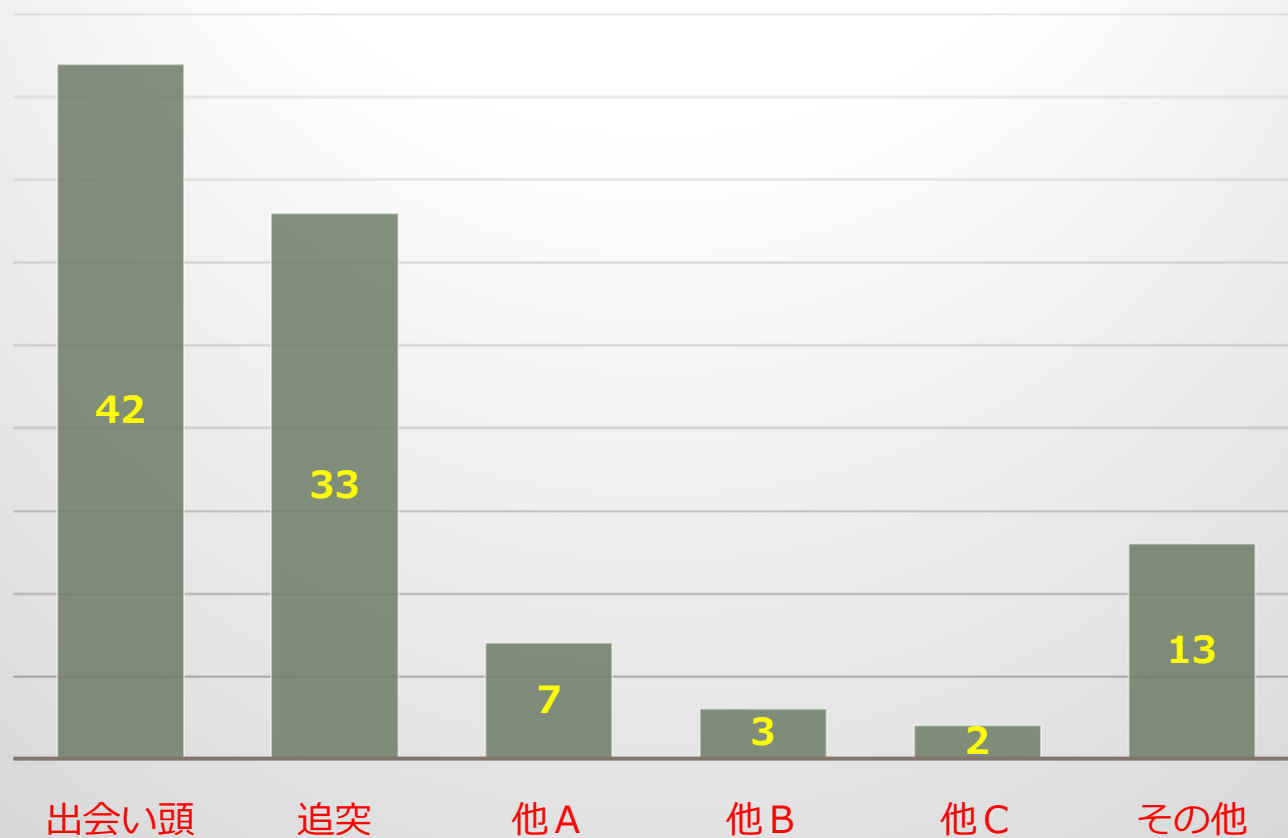




安全を守るための意識と予測運転

2 大事故 「出会い頭」と「追突事故」

人身事故における事故種別の割合



「出会い頭事故」 42 %

「追突事故」 33 %

2つの事故を防ぐだけで、事故の確率を大幅に減らす事が出来ます。

「出会い頭事故」は、予測運転の精度を高めるトレーニングを行きましょう。

「追突事故」車間を空けて対処しましょう。

飛び出し類型 ～停車車両の影～

応用



「車の陰からの飛び出し」にも
ご注意ください。
定番の型の一つです。

停車車両の基本的な確認方法は
下記の2点となります。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

上記2点を習慣化出来ると、安
全度はグッと増します。

飛び出し類型 ～渋滞の影～

応用



「車の陰からの横断者」にもご注意ください。
定番の型の一つです。

主に「信号待ち」や「渋滞中」に発生します。

飛び出し類型 ～横断歩道～

応用



法規上は**一時停止**です。

実際には一時停止を行なっている車両は見かけませんが、危険なシチュエーションである事には変わりありません。

最低でも「最徐行」で通過しましょう。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

確認を習慣化させよう



優先関連の「出来た」の基準

出来た（＝評価３）の基準@優先関連

【出来たの基準】

- ①優先道路の「見極め」が安定している
 - ・原理原則を理解している
 - ・フェイク交差点を理解している
 - ・判断に迷う瞬間が殆どない
 - ・実践走行時の正答率 98%～100%（余程のイレギュラー等が無ければ基本間違えない）
- ②優先対処が安定している
 - ・軽チェックが出来ている
 - ・スピードコントロールが安定している
- ③非・優先対処が安定している
 - ・「止まる」を実践できている
 - ・カーブ途中の再確認が出来ている
 - ・遠くまでチェックが出来ている